令和８年第５回運営推進会議　　（ぽぽハウス三の丸合同運営推進会議）

日時　令和８年 10 月 28 日（水）　14 時 00 分～

出席者

・じょうなん包括支援センター　ご担当者様

・城所様（民生委員）

・高城様　（地域住民）

・岩瀬様　（地域住民）

・栗原様　（ご家族代表）

・施設管理者　山田

・ご入居者　吉田様　後藤様

欠席者

・楠田様　　（第 61 区　自治会長）

議題

1. ご入居者の状況
2. 職員の動向
3. 行事・レクレーション等の活動報告
4. その他報告

2..ご入居者様の状況(17 名)　　≪資料 1≫　R.8 年 10 月 28 日現在

	1F かえで	2F さくら
男女構成	男性 2 名･女性 6 名	女性 9 名
最低年齢	女性 79 歳	女性 76 歳
最高年齢	女性 95 歳	女性 97 歳
平均年齢	89.5 歳	85.5 歳
介護度(内訳)	･要介護1(0 名)･要介護2(2 名) ･要介護3(4 名)･要介護4(0 名) ･要介護5(2 名)	･要介護1(1 名)･要介護2(2 名) ･要介護3(5 名)･要介護4(0 名) ･要介護5(1 名)
平均要介護度	4.5(前回は 3.0)	2.7(変動なし)

1階　要介護1　1名→0名　　要介護3　3名→4名

2階　変動なし

2.職員の動向　10 月 28 日現在

管理者1名

介護職員（正）5名　　パート6名　応援スタッフ　1名　派遣スタッフ2名

看護師1名（非常勤）　　厨房職員（パート）3名

介護支援専門員（正）1名（介護職員兼任）

3.レクリエーション・行事等活動報告（8 月 27 日～10 月 28 日まで）

行事　10 月 18 日　ぽぽ秋祭り実施

年一回行われる、グループホームぽぽ箱根板橋、最大のイベント。

11 時～14 時 30 分に開催。グループホーム横の職員用駐車場を会場とし、屋外で開催した。

だが、10 月であるにも関わらず外の気温が暑く「最後まで屋外で運営するのは危険」と判断し、

ご家族の健康と体調を考慮し、歌や職員の出し物を終えてからすぐに、屋内へ移動。

各階でお弁当を食べた後に、1階に集まり午後から、入居者ご家族によるコンサート・ビンゴ大会を実施し終了した。

25名のご家族が参加下さり、盛大なイベントとなった。ご利用者・ご家族共にとても楽しんで下さり、大成功の秋祭りとなった。

10月25日より　毎日の食事で使用するお米が南足柄産　てんこもり米となった（若手農家応援）

4.その他報告

①事故報告（8月27日～10月28日まで）5件

1. 9/9　無断外出　18時頃、玄関から外にお一人で出て行かれた。雨が降っていたが、捜索に出ていたスタッフが、大窪小学校前の道で傘をさして歩いているご本人を発見した。怪我などは、特になかった。

2. 9/21　朝、背中に毎日貼っているパッチの貼り忘れ。その日の夕方貼り換えていないことに気が付き貼り換えを行った。

3. 10/1　義歯（部分入れ歯）の紛失。9時頃、義歯が装着されていないことに気が付いた。
その日のスタッフと管理者・ケアマネジャーで捜索、居室の中、箪笥の中、ゴミ箱、ゴミ袋（外のゴミ置き場含め）限なく捜索したが見つからなかった。その後も数日間捜索実施したが、見つからないため、ご家族に謝罪し、改めて歯科医師に義歯の作製をお願いした。
10/28現在、仮歯を使用し様子観察と調整中。

4. 10/18　無断外出。秋祭り中、12時頃ご本人がグループホーム内にいないことが発覚。すぐに捜索し松永記念館園内にいるご本人を発見した。

5. 10/19　座骨骨折事故。10//18の朝起床時に、左大腿付近に痛みの訴えがあった。だが、軽い痛みで起床が出来た。普段は歩行されている方だったが、念のため車いす使用して様子をみていた。

翌日 10/19 昨日より痛みが強くなり、大腿部にアザがあるのを確認したため、その日の午前中、管理者付き添いで整形外科を受診。「座骨骨折」と判明した。

入院はせずグループホームに戻られ、現在は食事以下外の時間は基本的に安静にして過ごしていただいている。

② ヒヤリハット報告について（8 月 27 日～10 月 28 日まで）21 件

・身体のバランスを崩され、ふらつき等による、転倒・転落・怪我等の事故を防いだ。8 件

・床に座り込んでしまった等の尻もち　　8 件

・服薬関係　　4 件

・その他　　1 件（料理に異物混入）

③　加算について

10 月 1 日よりグループホームぽぽ箱根板橋では「**生産性向上推進体制加算Ⅱ」を新たに算定することとなった。**

生産性向上推進体制加算とは、介護機器の活用や業務の見直しなどを通して、職員負担軽減とサービスの質の向上目指すための加算。業務を効率化することでご入居者へのケアをより充実させることを目的としている。

今までは実施は努力義務とされていたが、来年度からは国の決まり事で、事業所で必須項目となる事に先駆け、10 月 1 日から実施している。

④　　今後の予定

11/4　11/8　小田原市グループホーム・小規模多機能連絡会が開催する「ラン伴+おだわら」に参加する。主な目的は認知症の方に関して、地域の方へ啓発すること。

毎年行われ、今年で 13 年目。毎年地域の企業の皆さんから協賛をいただき、開催できている。

地域のグループホームや小規模多機能居宅介護をはじめとする市内の事業所や、病院や薬局、医師会歯科医師会、小学校や中学校、支援学校、市役所や地域包括支援センター、地域の店舗等々、

様々な場所をマラソンというかたちで周り、タスキを繋いで行くというイベント。

ぽぽ箱根板橋からは、ご入居者と一緒に間中病院へたすきを繋ぐ。